

えぐちーず

(部内資料)

連絡先 日本共産党区議団控室 世田谷区世田谷 4-21-27 区役所第2庁舎内

Tel 5432-2791 fax 3412-7480 メール eguchi@jcp-setagaya.jp

ブログ <http://e51d4legc.blog137.fc2.com>

ホームページ <http://egucheese.net/link>

2014年11月28日



11月25日(火)～12月4日(木)まで、第4回区議会定例会が行われています。
江口が26日(水)に代表質問を行いました。
以下、概要をご報告します。



1、国政の諸問題に対する区長の見解を問う

Q, 安倍政権は、10%増税を1年半先送り後は、必ず増税を行うと断言している。

日本共産党は増税中止と税制改革・経済改革で、社会保障と財政の再建を行うもう一つの道を提案している。

消費税10%増税の区長の認識は？

A, 保坂区長「くらしに密着する影響の低減や地域経済の活性化など、必要な施策を検討する。」

2、新年度予算編成について、区長の基本姿勢を問う

Q, 新年度予算において、安倍政権の悪政から区民生活と福祉を守る予算・切実な区民要求にこたえる予算・大型開発優先の転換に結びつく予算であるべき。区長の新年度予算の基本姿勢について示せ。

A, 保坂区長「区内中小企業をとりまく経営環境は厳しい。環境配慮型リノベーション事業をより有効で使いやすい制度にするよう、指示します。」

Q, 安倍政権の悪政から区民生活と福祉を守るとして、子供の貧困対策に系統的に取り組み。無料塾の開催と就学援助の拡充に仕組み。

A, 子ども部長「学習環境の整備は重要。無料塾の地域展開について検討する。」

Q, 保育待機児童問題の解消を求める保護者の声は高まっている。今後5年間で2万人の保育整備目標の確実な整備を行え。

A, 子ども部長「保育待機児解消に向けた取り組みを全力で進めていく。」

Q, 前区政の行革でゆがめられた区の福祉施策を見直すべき。特定健診・長寿検診・がん検診は、新年度予算で見直せ。

A, 保健福祉部長「低所得者対策について方向性を固めていきたい」

Q, 地先道路はもっとも身近なくらしに密着した道路で。危険な通学路、コミュニティバスを通すのにネックになっている場所など、住民が地先道路の整備を求める場所が区内各所にある。都市計画道路偏重を改め、地先道路の計画的な整備を進めよ。

A, 道路整備部部長「せたがや道づくりプラン」では、都市計画道路整備を重点化する考えを示している。「地先道路につきましても検討していく」

(次回へつづく)



集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を！ 特定秘密保護法の廃止を！ 原発再稼働をやめよ！

「集団的自衛権」「特定秘密保護法」「原発再稼働」など、安倍政権の暴走にストップをかけるため、区議会に意見書提出を求める区民からの陳情が次々よせられ、区議会の委員会で審議されましたので、ご報告します。

安倍政権の暴走ストップ！ 区議会に意見書求める陳情続々

11月10日に開かれた区議会企画総務委員会では、集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書や決議を上げるよう求める陳情2本、特定秘密保護法の廃止を求める意見書を上げるよう求める陳情、秘密保護法の区民への影響を調査し、区民に知らせることを求める陳情などが審議されました。生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会が集め

陳情に対する各会派の態度

	共産	自民	公明	生ネ社	民主	F行革
集団的自衛権の行使容認を決定した閣議に対し、その撤回を求める決議を上げるよう要請する陳情	採択	不採択	不採択	採択	趣旨採択	趣旨採択
「集団的自衛権の講師を容認する閣議決定撤回を求める意見書」に係る陳情	採択	不採択	不採択	採択	趣旨採択	趣旨採択
「特定秘密保護法」の廃止を政府に求める決議を要請する陳情	採択	不採択	不採択	採択	趣旨採択	採択
「特定秘密保護法」が、どのような点で区民生活に影響があるかを調査して、その結果を広報し、区民向けの相談体制を早急に作ることを求める陳情	趣旨採択	不採択	不採択	趣旨採択	継続	不採択
再生可能エネルギーによる電力の活用促進と、原子力発電の再稼働をやめることを国に求める意見書の区議会採択に関する陳情	採択	不採択	不採択	趣旨採択		採択

※環境エネルギー対策特別委員会に民主の委員はいません。

11月12日に開かれた区議会環境エネルギー問題対策特別委員会では、「再生可能エネルギーによる電力の活用促進と、原子力発電の再稼働をやめることを国に求める意見書」を求める陳情が審議されました。

日本共産党は「採択」求め論戦 自民・公明が「不採択」主張

陳情の審議は、陳情者が趣旨を説明し議員から陳情者に質疑が行われます。続いて区の理事者からの説明と質疑、各派の意見表明と続きます。

日本共産党は、中里区議が審議に参加。主張に賛同し「採択」を主張しました。一方、自民党や公明党は、「安全保障上必要」（自民）「解釈改憲ではない。歯止めをかけた」（公明）「原発が止まって火力発電が増えた。CO2が増え、燃料の負担も増えている」（自民・公明）などと「不採択」を主張しました。委員会の結論は、それぞれ「継続審査」となりました。（陳情に対する各会派の態度は左表参照ください。）